



2023年度

いちごぐみ



クラスだより

敦賀教会幼稚園

園長 有風史季

4月28日発行

執筆者 吉野とむみ

柔らかな日差しが差し込む気持ちのよい春を迎えました。いちご組に8人の子どもたちを迎えました。新しい出会いに心から感謝です。幼稚園に通い始めて早くも3週間が経ちました。泣いたり不安そうな産声をしていた子も、新しい環境に慣れ、好きな遊びを見つける中で、かわいい笑顔を見せてくれる時間が増えています。子どもたちが安心して過ごせるように心がけていきたいと思ひます。



☆1日の様子☆

登園し、持ち物の片付けやこひつりシートを貼った後には、ままごとや電車・レゴ等それぞれ好きな遊びを楽しんでいます。寂しさから涙が出てしまう時もありますが、教師と一緒に過ごしたりお友達の様子を見ることで気持ちが切り替わり次第に笑顔で遊び始めます。

全員が登園するとみんなの顔が見えるようにサークルになり朝のお集まりをします。挨拶を交わし、礼拝を守ります。お祈りや賛美歌は神様とお話しする事。教師の真似をしてお祈りしようしたり、賛美歌も少しづつ覚え口ずさもうとしてみたりしています。その後は、好きな遊びやカリキュラムにそったその日の保育プログラムを楽しみます。おいしい会食を食べ、お腹が満たされた後は、お昼寝をします。たっぷり遊んで疲れている子ども達は、落ち着いて眠りについています。幼稚園が楽しく過ごせる場所となるように一人一人の思いを受け止めつつ、見守っていきたく思います。初めての事の連続で心も身体も疲れていると思ひます。ご家庭では心を解放し、ゆくりと過ごし、旧頑張った子どもたちをしっかりほめてあげてくださいね♡



毎週月曜日には幼稚園のお友達・先生方みんなと一緒に礼拝を守り、お部屋では毎日礼拝を守ります。目には見えない神様を心の中で想像し思い浮かべるために目を閉じ、今からお話ししようとしていることが神様に分かるように、手を組みます。子どもたちはどんな神様を想像しているのでしょうか？ またお祈りの最後に「アーメン」と言いますが、「私も同じ気持ちです」という意味です。いつも私たちを明るく照らし、楽しくた事も世帯しかった事も悲しい事も…なんでも受け止めて下さる神様に感謝の気持ちを持って、素直な気持ちで子ども達と一緒に祈りたいと思ひます。

★お願い★

- ・午睡時のシーツ・タオルケットは2週間に1度持ち帰ります。洗濯していただき月曜日にお持たせ下さい。
- ・ゴミ袋に直接ゴミとマスクを入れて下さい。子ども達が自分でリュックから出し入れしています。(中着のひもをリボン結びをしていたり、ビニール袋に入っていると扱いにくい様子がありません)
- ・思い切りのびのびと石少場で遊んだら、自分で会食を食べる姿が頼もしいです！毎日汚れても良い服装で登園してください。

1年間 よろしくお願ひします!!

いちご組の子どもたちと元氣いっぱい、笑顔いっぱい楽しい幼稚園生活にしたいと思ひます。嬉しいことも悲しいことも分かち合ひながら、色々な事に挑戦してみようという気持ちを伝え、できたらの喜びが感じられるように見守りたいと思ひます。お気づきの点や不明な点がありましたら、お気軽に声を掛けていただくのは幸いです。保護者の方と一緒に子どもたちの成長を喜んでいきたいと思ひます。至らない点もあると思ひますが、丁寧な保育を心がけて参ります。どうぞよろしくお願ひします。 吉野とむみ

可愛い子どもたちとの出会いに感謝いたします。毎日が喜びいっぱい笑顔いっぱい過ごすようにひとりひとりに寄り添っていきたくと思ひます。たくさん遊びましょね♡ 宜しくお願ひ致します。 伊藤 三恵



2023年度 いちごぐみ



敦賀教会幼稚園

園長 有岡史季

クラスだより

5月31日発行

執筆者 吉野とみか

新緑が青空に映え、どこにいてもまぶしい光を浴びることが出来ます。いちご組の子ども達も園生活に少しずつ慣れ、緊張していた子どもたちも笑顔が増え、安心して過ごせるようになってきました。また、友達の名前をロケットでめたり、挨拶したり、友達との関わりも見られるようになり、とても微笑ましく思います。所持品の片付けが終わると、お部屋を中心に晴れた日はテラスや園庭に出て、それぞれ好きな遊びを楽しんでいます。特に園庭では、思い切り遊ぶ様子がみられ、のびのびとした時には泥だらけになり、じっくりと遊んでいます。幼稚園がより楽しく安心できる場となるように、個々に寄り添い過ごしていきたいと思っております。

園での様子

★テラス...各クラスの保育室に隣接するテラスは良き異年齢交流の場となっています。お兄さんお姉さんと一緒にダンゴ虫を探したり、部屋に入って作り物を見せてもらったり、一緒に遊ばせてもらったり...沢山の刺激を受けています。また、お散歩の際に下西農園さんで買ったトマトとオクラの苗もテラスで育てています。「まだでまん(突っ張り)な」と楽しんで水をあげ、成長を待っています。みんなで大切に見守っています。

★園庭...滑り台も砂場も大好きな子ども達。砂場では山を作ったりお料理を作る真似をしたり、時には、泥だらけになりつつ楽しんでます。

★作り物...魚里が滝を登っていくように元気にカ強く育てほしいと原いむ込め、揚げたこいのぼりを制作しました。真魚里はスタンプで斜魚里はシールで魚鱗の模様をつけました。ボードに飾ると自分の作品を見つ、嬉しそうに話していました。

お願い

★子ども達は、石少遊びや粘土など手を使って遊ぶことが大好きです。爪が長いと、爪の間に汚れが入り不衛生になります。糸田めな爪切りをお願いいたします。

★身の回りの事を自分でやってみようとする姿が見られてきています。子ども達の「してみよう!」という意欲に繋がるように扱いやすい服装・物をお持たせください。一人でできた喜びにも繋がります。

★毎日汚れても良い服装で登園してください。着替えは翌日に絵本袋に補充分をお持たせください。

★登降園時には、帽子・水筒・リュック・絵本袋は自分で持つ習慣をつけましょう。水筒は直にかけ、どちらかの手を通してください。また、ハンカチは子ども達が扱いやすい大きさのものをポケットに入れてください。

★お家の方から高熱水、幼稚園で過ごし一杯遊んで帰ってきた子ども達と、沢山スキンシップを是非お願いいたします。それが子ども達の元気の源になります。

遊びの中の学びの芽やややや...

幼児期の終わりまでには育、て欲しい10の姿「健康な心と体」「自主心」「協同性」「豊かな感性と表現」「道徳性・規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」「数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚」「言葉による伝え合い(幼稚園教育要領)」があります。この10の姿は到達目標として掲げられているのではなく、教師が保育を計画したり指導したりする中で、参照点・枠組みとして意識するものです。これからクラスだよりで連載していく遊びの中の学びの芽のコーナーでも10の姿の育ちへのつながりを感じて頂けたらと思います。

砂場遊びが大好きな子ども達です。いろいろな容器に砂を詰め、ひっくり返してフリンやケーキを作る型抜き遊びや、たらいに張った水にスプーンやスコップなどの道具を使って、他の物に押し替えたり、川を作って水を流し入れたりする遊びを楽しんでいます。今回は、その中から型抜き遊びに目を向け、学びの場面をお伝えしたいと思います!

R君は大きなバケツにスコップを使って砂を詰め、型抜きを楽しんでいます。大きなバケツ一杯に砂を詰めるのは、2歳児にはなかなか根気のいる作業ですが、何度も何度も砂をくわっては入れ、一杯になるまで頑張ります。おや、一杯になると達成感の意味、心が満たされる様子があります。さて、その続きのバケツをひっくり返す作業ですが、砂で一杯になったバケツはとても重くて、自分ではできそうにありません。そこでR君は考え、教師に手伝ってもらおうとバケツを運ぼうとします。バケツは重くてなかなか思い通りに動いてくれませんが、そこで感じる重量感が面白く、何やらにやかに運んでいます。砂や水に興味をもち、まず「感じる」「感覚を味わう」ことが面白い2歳児ならではの姿です。さて、型抜き遊びはどの程度、どんな石更さに砂を詰めれば良いか、カゴ減やコツが必要で、少なすぎても、カゴ足りなくても上手いきません。手首の返しや勢いも必要です。何度も何度も失敗し、試行錯誤を繰り返します。ずらと同じ遊びをしているように見えて、実はその中で目的と手段のつながりをインジシ、試行錯誤しながら考えているのです。

身近なものに関わる中で様々なことを身体と心で感じ、学び取っています。豊かな感性が育ち、好奇心や探求心に繋がって、それを言葉で表現しようとする力に向かっています。遊びの中の学びの芽をしっかりと見取りながら、子どもたちひとりひとりの育ちを支えていきたいと思っております。



2023年度 いちごぐみ



クラスだより

敦賀教会幼稚園

園長 有岡史季

6月23日発行

執筆者 吉野ともみ

ベランダの紫陽花がきれいなピンクや水色の花を咲かせました。みんなが育てているおくらやトマトの苗に花が咲き、実が大きくなるのを今か今かと楽しみにしている子ども達です。お部屋では飼育しているカタツムリを見て、飾り作をしたり、歌を歌ったり、梅雨の季節を感じながら過ごしています。

すっかり幼稚園での生活リズムも整い、友達と関わりながら笑顔で遊ぶ子どもたちの姿を微笑ましく思います。その反面、自己主張が強く、やり取りがぶつかり、争い事や自分の思いを通そうとする姿も、しかし、それは自我が発達している2歳児ならではの発達の姿でもあります。周りとやり取りの中で相手の気持ちに気が付き、自分の意志が常に通るわけではなく、時には我慢が必要であることも知り、自制心が育っていきます。そのような気持ちを受け止めつつ、一人一人の成長を見守りながら毎日過ごしていきたいと思ひます。



花の日礼拝

6月12日、それぞれの家庭から持ち寄った花を前に神様が作ってくれた自然、そして与えてくれたすべての命に感謝し、礼拝を守りました。沢山のお花を眺める中、喜びに満たされ、心温まる礼拝となりました。嬉しい気持ちを多くの方々と分かち合うために、いちご組の子ども達が、スタンプの表現方法を使い、制作した紫陽花と貝より、素敵なカードを作りました。花束にそのカードを添えて、教師が近所の方へ、お届けした。近所の方もとても喜んでくださり神様のお手伝いをして下さる事が出来ました。



遊びの中の学びの芽

天候の悪い日には、お部屋で粘土遊びを楽しんでいます。この遊びでは、粘土の感触に角虫、冷たさや石更さを感じながらイメージ型にしていくなか、味わうことが出来ます。初めて粘土に角虫をしたときには、粘土板の裏側に押し型で遊びを楽しんでいました。ところが始めは粘土が石更く、伸ばすのも一苦労です。5~10分ほどで、すぐ集中力も途切れ、片付ける様子がありました。それでも繰り返して遊ぶ中で、カマコも分り始め、丸めたり細長く伸ばしたり、虫に見立てたり、また頭の中でイメージしたものを「ぶどう作ろうか」とつむり作って、と教員に話しに来る様子がありました。30分ほど遊びが継続するようになり、言葉しながら考えたり、思い思いにイメージを広げ表現しようとしている姿に学びの芽を感じました。この芽が創作意欲、創造力、試行錯誤する力につながっていくように育てていきたいと思ひます。



園での様子とお願い

★ 会食... 沢山のおいしい食材を育てる農家の方。言理して下さる会食の方に感謝し、みんなで会食を分かち合っています。友達と食べるとおいしいね、嬉しい気持ちで食べる事を大切にしながら、苦手な食材は西乙用糖の量を調節し、一口は食べられるように巻かれています。(頑張り屋さんの子ども達です。西乙用糖は食事はいつも完食しています。) またスプーンやフォークの持ち方、足を閉じて椅子に座る事、机と身体の間隔を話める、食器に手を添えることなど、マナーも伝えています。夏に向け、食欲が落ちてくる子も出てくると思ひます。また、味覚も発達途中の子ども達です。お子さんの好みや食事の様子で、気になることがありましたら、いつでもお声掛け下さい。

★ 朝の所持品の整理(登園後、水筒・帽子・リュックを掛付け、お知らせケースを出し、シールを貼る) スポーツの着脱。手洗後ハンカチで手を拭く、会食の準備等、幼稚園では色々な事を自分でやり、やってみようとする姿が見られています。できるだけ時間がかかっても、時には投げ出し、甘えたり... そんな時も教員が励ます中で、自分で出来る満足げな様子の子も達です。「できた!」という達成感が味わえるよう、時には手を添えて寄り添って、いっしょに思ひます。時間がかかってもあるかも知れませんが、お家でも寄り添ってあげて下さい。そして沢山 褒めスキャンダルを取ってあげて下さいね。登園時、系会本袋も自分で持つと素敵です。水筒は安全の為、首から掛けて、月経を通してお持ち下さい。

★ パンツトレーニング... パンツへの移行期間でもある2歳児。友達がトイレに行くのを見て真似て行ってみようとする姿も見られ始めました。ご家庭での様子もお伺いして園でもトレーニングを始められたらと思ひます。お家での様子をぜひ教えて下さいね! 夏に向けて移行しやすい時期でもあります。パンツの心地よさを伝え、スムーズに移行の弾みになりたいと思ひます。トレーニング用のパンツですと、オムツと変わらず、暑さを感じたり失敗して尿が足を伝えている気持ち悪さや濡れた不快感を感じ取るの、難しい様子があります。移行の際には普通のパンツをお勧めします。



クラスだより

敦賀教会幼稚園

園長 有岡史季

7月20日発行

執筆者 吉野とみか

夏の暑さを感じながらも、子ども達は、どうも遊びや水遊びを元気いっぱい楽しんでのびのびと園生活を過ごしています。先日の保育参観・個人懇談では、子ども達の幼稚園での姿や成長を分かち合う良い時となった事を心から感謝いたします。お忙しい中ありがとうございました。

入園して早4か月...初めての集団生活を過ごす中で、いろいろなことに不安や戸惑いを感じながらも日々の繰り返しや様々な経験を重ね、友達同士お互いが良い刺激となり、自分で出来ることも増えました。それが小さな自信へとつながり心も身体も大きく育った子どもたちです。神様に守られ、保護者の皆々に支えられ、大きな怪我や病気をすることなく楽しく1学期を過ごせたことを心から感謝いたします。

明日より夏休みが始まります。大好きなお家の方と楽しく過ごし、健康に支えられ喜び一杯のお休みとなりますように、日々起こる1つ1つの出来事が、小さな心の成長の栄養となりますように...お祈りしています。

遊びの中の学びの芽

色水遊びを「バランタ」で楽しんだある日の事。赤・青・黄・白の色水の中から子ども達がそれぞれに好きな色を透明なカップに入れて「イチゴ」や「レモン」等、ジュースに見立てて遊んでいました。そこで「教師が」

青と赤の色水をカップに混ぜ「どうなるかな?..」と見せてみました。すると子ども達は興味津々に次第に変化していく様子を見て「アッ!」と大喜びです。早速教師と同じ色を選び混ぜ合わせ、「ほらできたよ」とジュース屋さんごっこを楽しみました。その後も、様々な色を混ぜ合わせ、ピンクやオレンジ、緑等「新色」ができていきます。それが面白く、何度も色を混ぜ、様々な色に変化すると満面の笑みまわっていました。

さらに、色水を混ぜる時に勢いをつけて混ぜると混ぜざらずにばらばら分離した状態である事に気づき「クラクション」を楽しんでいました。まずは教師や友達の真似をまかか、色の変化と楽しみ

偶然、自分のイメージした色水ができた事に気づき、その後色水を混ぜて試し、楽しむ姿や子ども達自身で新たな発見に気づく姿に学びの芽を感じました。また、みんなと大満足な子ども達、2学期も引き続き今しかできない遊びを楽しんでいけたらと思います。

お知らせとお祈り

★岸本 琴葉さんが6月30日をもち、退園されました。

お話し上手で笑顔の素敵な琴葉さんが新しい地でも元気に楽しく過ごせますようにお祈りしています。

★用品を持ち帰りました。ご家庭で使用されても構いません。再度記名を確認し、新学期にお持ち下さい。(クレヨンの中にセロファンがかかっていたら、使いやすいように剥いてお持ち下さい。クレヨンの筆色や自由画や帳等年度の途中であっても園でも購入いたします。)

アイスクリーム屋さん

アイスクリームのおもちゃが大好きな子どもたち...アイスクリームを友達や教師に分けてあげたり、お気に入りのフレーバーで好みのアイスを作ったりする中で、子どもたちから「アイス屋さんのワーク」が聞かれました。そんなある日のこと、こり組のハンバーガー屋さんに行き、お客さんとしてお音屋に行ってみると、あまりの楽しさに店員さんになって遊ぶ子ども...これはアイス屋さんを開店するしかない!と、早速画用紙やポリ袋を使って子どもたちとアイスを作りエプロンや帽子もそろえ、色水を取り付けアイス屋さんに変身!!満を持してこり組アイス屋さんの開店です。とこが、こり組アイス屋さんが開店すると、みんながアイス屋さんになりたくてお客さんがゼロ...そこで他のクラスの友達を呼びきたものの、アイスではなくレシのお金を渡してしまったり、一方的に山ほどアイス渡したり...レシを独り占めしたくて押し合い、こりが始まってしまったり...お店は大混乱です。自我が大きく発達してくる2歳ごろでは、客が微笑ましく思いますが、教員がその都度仲立ちをする中で少しづつ仕組みが分かたり、また大きいクラスの友達がリードしてくれる中、その姿を真似ることで友だちとのやり取りの手法を学んだツリ...徐々に遊びが成り立ちました。この遊びは他者とのコミュニケーション能力や思考力、言葉の発達に寄与する重要な遊びです。言葉の発達途上にある2歳児にとって、後の成長に大きなクラスをむたらします。

物事を真綿のようにじっくり受け止めていく子どもたち!!楽しい遊びの中から多くの刺激を受けたいと、このことと学びを取り組む。これからも元気でいきたいと思っています。

- ♪1学期歌、たの歌
- ♪1学期歌、たの賛美歌
- ♪ホ・ホ・ホ、♪かたつむり
- ♪紅い様大好き
- ♪こころをあれせ
- ♪うみ、♪ちっちゃないちご
- ♪あでずおはようございませ
- ♪夏は暑い
- ♪ゆき100%、♪さんぽ
- ♪うみととらつくらわたは
- ♪このほり、♪おかあさん
- ♪はらばらおちる
- ♪このほり
- ♪なかくつマーチ

等々



クラスだより

敦賀教会幼稚園 園長 有風史季
9月15日発行 執筆者 吉野とみみ

日中は夏と変わらないような暑い日もまだありますが、日が沈むのがすいぶん早くなってきました。

大好きなお家の方々と楽しく過ごした夏休みも終わり、2学期が始まりました！久しぶりに登園してきた子どもたちは心も身体もひとまわり大きくなり、その姿に頼もしさを感じています。

2学期は、運動会をはじめ、芋ほり(秋の遠足)クリスマス... 楽しい行事が予定されています。また、保育日数も一番多い学期になっています。1日1日を楽しみながら、友達と一緒に過ごす中でいろいろな経験が、積みあがっていくように取り組んでいきたいと思っています。その中で子ども達がどのように成長していくのかとても楽しみにしています。

また、友達との関わりも増え、深まっていく時期でもあります。関わりの中でトラブル等も経験し、相手の気持ちに気がついたり、遊びのイメージを共有したりしながら友達と一緒に過ごす喜びを感じていて欲しいと願っています。運動会に向けた取り組みも始まりました。喜びを持ち、参加し、気持ちを高めながら過ごしていきたいと思っています。

祖父母参観

9月4日に祖父母参観が行われました。大好きなおじいちゃん・おばあちゃんを見かけると大喜びの子ども達！飛び切りの笑顔を見せてくれました。この日参観に来られた祖父母の方々に、皆のおじいちゃん・おばあちゃんになってもらい、礼拝堂で一緒に礼拝を守り、部屋ではお遊びや歌を歌ったり、一緒におまごことや電車、折り紙で遊んだり... 楽しい時間を過ごすことができて嬉しかったです。いつもみんなのことを優しく見守り、支えてくださっている大好きなおじいちゃん・おばあちゃんが幼稚園に来てくださり、楽しい時間を共有できたこと心から感謝いたします。事前に、のびのびとクレパスを走らせて、お手紙を描きました。お友達と一緒に撮ったかわいい写真も添え、「ありがとう」「いつまでも元気でいてね」の気持ちをプレゼントしました。祖父母の皆様のご来園から健康が守られ、毎日を笑顔で過ごすことができますようにお祈りしています。

㊦遊びの中の学びの芽㊦

A君は積み木を積んで崩すことが楽しく、繰り返して楽しんでいました。この「壊したい」「崩したい」という思いは、崩すことで積み木が床にあたる音や不規則に散らばる事が面白く、その様子を期待しているところからくるのでしょう。押す力の減や積み方によっても崩れ方が変化することから、じっくり観察する様子もありました。

A君は繰り返して崩す行為を楽しんだことで高く積み木を積むほど面白いことが分かり、試行錯誤しながら高く積む方法を学んでいきました。その中で、角と角を合わせるといった糸田やかな動きが出来るようになり、今度は崩すのではなく、せり何に高く自分のイメージ通りに積むかという面白さを感じるようになりました。

一人遊びをじっくり楽しむこと... これは欠かせない発達段階です。一人遊びで満たされてはじめて、他者との共有であったり、共同していくことが可能になっていきます。この時を大切に見守りながら、今後友達と同じ遊びを介して、その関わりの中で色々な思いに気付く学びの芽に繋がっていくように支えていきたいと思っています。

お願い

- ★紙袋・空き箱・包装紙等ご家庭にありましたらお持ちせ下さい。制作遊びに使います。
- ★身の回りの片付けや会食・降園準備等にも意欲的な子ども達です。登園準備や降園後の始末にも意識が向くと素敵ですね。お家に帰ったら、使い終わったコップや糸糸を出すように伝えていきます。お家でもご協力下さい。
- また、リュック・巾着子・水筒・糸糸袋も自分で持って登降園できるようにお声掛け下さい。
- ★ハンカチはポケットに入れてくださいますようお願いいたします。(2回折りたたんでポケットに入る・小さく折りたたむ物が使いやすいです。)



2023年度 いちご くみ



クラスだより

敦賀教会幼稚園 園長 有岡史季
10月4日発行 執筆者 吉野ともみ

朝夕と涼しくなり、心地良い秋風を感じながら、園庭で元気一杯遊んだり、お部屋では、「おばけなんてないさ」や「とんないろかすき」を歌ったり、クッキングをしたり、1つ1つの出来事を楽しみながら過ごしています。

もうすぐ行われる運動会に向けて、かけっこやダンスの取り組みの真っ最中です。今回のクラスだよりは、運動会直前スペシャル号です！プログラムの内容や見どころを紹介していきます。日常の延長線上に運動会を位置づけ、お部屋で楽しんだダンスやかけっこ!!「可愛い姿やカッコイイ姿をお家の人に見てもらおう!」と話す楽しみを当日を待っています。

初めてのことに、戸惑ったり、照れくささから友達の様子を見ている子も居ましたが、練習返しの中で、少しずつ楽しさを感じながら一糸巻に踊る様子が見られるようになり、嬉しく思います。また、かけっこも走り終わると「もう1回したい!!」と意欲的に取り組んでいます。

気持ちが高めながら喜びを持ち、当日を迎えられるよう過ごしていきたいと思います。初めての運動会で緊張や戸惑いもあるかと思いますが、子どもたちのありのままの姿を受け止めてくれた「水は幸い」です。温かいご声援をお願いします。

2023年度
運動会テーマ

さかせよう

～いろいろとどりのえがおのはな～

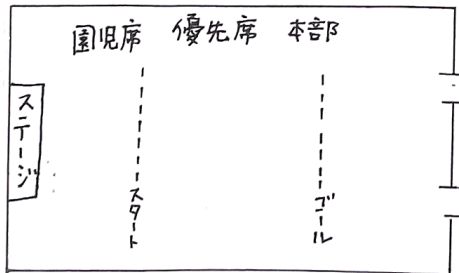
一人一人が色々な色を持っていて、それぞれカラーがあり、それぞれ素晴らしい、かけがえの無いもの。自分の色を大切にしながら、その素晴らしい自分の花を咲かせてほしい。また、当日だけでなく、それぞれ力を出し合い、尊重し合い、取り組みを楽しみ、笑顔あふれる運動会になるように... 願いを込めてテーマを掲げました。当日、子どもたちのキラキラ光る笑顔の花がたくさん咲き誇りますように☆

<プログラムNO.1. かけっこ>



1人ずつ名前を呼び、「はい!」と返事をした後、グリーンゾーンと、ゴールを目指し、一生懸命に走ります。

2グループ	1グループ
ほのか	りつき
れな	はせかなと
うのかなと	つばき
りょうが	とうこ



真余りな子ども達にご声援をお願いします。



<プログラムNO.2 いちご組 ダンス てとてとて>

園児席	優先席 教師	本部
とれはほ	うつり	り
うなせの	のばよ	つ
こかかか	かきう	き
な	な	が
と	と	

子どもたちも「お気に入りの腕飾りを付け、入場します。GREENのテテテテテ♪に合わせて元気いっぱい足踏みします。とてもかわいいダンスをお楽しみに!

※全員が保護者優先席の方を向いて足踏みします。最後に全員が前に集まりフィニッシュです。



★これまでの様子★

身体を動かすことが大好きな子ども達。初めて曲をかけると教師の姿をじっと見て観察する様子がありました。子ども達も大好きな「ニコニコポーズ」やお祈りポーズ... 手を大きく揺らしたり、手拍子をつけたり... ダンスが「苦手な子も友達が楽しそうに踊っている姿を見ながら少しづつ、振りを感じ、曲が流れると自然に体が動き出したり、♪うらうらうらうらうら。ああ皆で一緒に♪と歌詞をロクろみながら楽しんで取り組んできました。

腕飾りは、自分で白い布を折りたたみ絵具に浸して染めました!!そこに宝探しを探し当てた、クラスカラーの赤色のミニポンポンを付けると大喜び!!初めて付けてみると腕を振りたり嬉しそうに眺めたり... 気合い十分に踊っています。当日は大好きなお家の方々、お友達も沢山いる中でダンスを踊ります。

緊張や不安もあると思います。子ども達の様々な姿が見られると思いますか? 温かく見守っていただきたいです。

★お知らせとお願い★

★あ、いよいよ運動会です。お休みがなく、みんなが集まってくる事ができますように... 笑顔あふれる運動会になりますようにお祈りしています。

★運動会は13:00より、年長児のマーチングから始まります。集合時間(12:50)に遅れることのないように排せを済ませ、カラーキャップをかぶり、水筒を持って園児席まで送って下さい。確実な出入り把握の為担任の所までお願いします。午後からの開催となります。昼食時間やお昼寝の時間の調整をして頂くなどご配慮して下さい。ご協力をお願いします。

★気になる点やご不明なことがありましたらいつでもお声掛け下さい。

★10月2日より、新しい友達が増えました!^{くぼた}窪田 ^{とうこ}陶子さんです。一緒に楽しく遊びましょうね。





2023年度

いちごぐみ



クラスだより

敦賀教会幼稚園

園長 有岡史季

11月17日発行

執筆者 吉野とみみ

肌を感じる風も涼しさから冷たさになり、少しずつ冬の訪れを感じます。日中の暖かな日差しのもと、子ども達は園庭で「追いかけてごっこや石少場遊び」を楽しんだり、お部屋で「おままごと」や電車等友達と思い思いに遊びを楽しんでいます。先月は、いちご組の子ども達にとって初めての運動会が行われました。いつもとは違う雰囲気緊張や不安もあったと思いますが、そんな中、一生懸命に持っている力を存分に発揮し、走り、ダンスをしたり頼もしい姿を沢山見せてくれました。神様に守られ、導かれ、また、保護者の皆様のご協力で温かい運動会になったことを心から感謝いたします。また、先日の保育参観では幼稚園の生活の流水を感じながら、いつもの様子を見ていただくことが出来ました。ありがとうございました。これから嬉しいクリスマスを迎えます。

1日1日を伸び伸びと過ごし、

子ども達のありのままの姿を大切に、楽しみながら当日を迎えられるように支えていきたいと思ひます。

☆秋の遠足…登園してくると、

お弁当持ってきた!、「00か入ってる!」と嬉しそうに話し、朝のサークルが終わったばかりなのに、「おなか減った!」と話し早速食べたい!とアピロルしてくる姿がなんとも微笑ましかったです。いざバスに乗り込み出発!見覚えのある道を通ると「00の道!」「00の道!」と話ししていました。芋堀りでは一生懸命に芋を堀りコンテナに運ぶ姿が頼もしかったです。また、持ち帰った芋も子ども達が「お芋を水洗ひ袋詰めをしました。そのお芋を使ってお家の人がお料理してくれたことを嬉しそうに話す子ども居ました。

☆クッキング…収穫したお芋をふんたんに使って、クッキングを行いました。食前の一環として調味料のおお見せも!蒸かしたお芋を袋に入れ感角虫を石置かめながら煮したり、ホットケーキミックスと牛乳を「おいしくなあれ!」と唱えながら混ぜたり...おおほりです。オーブンに入れ見守ったり、食の準備をしていよいよ完成!「おいしい!」とお替わりも沢山してくれました。

☆火危き芋パーティー…ひかり組のお兄さんお姉さんに教えてもらい芋を新聞紙で包み水に浸してアルミホイルを巻き、火危き芋の準備をしました。火の暖かさを感じながら炭火の中に子ども達が入りました。火をおこす様子や日においに包まれて、ホールの車輪になり、みんなと夜更けを合せていた「きました。

☆自然散歩…運動公園までバスに乗り、「どんぐりおちてるかな」とワクワクしながら

出掛けました。お友達と手を繋ぎ「いっしょに歩こう」といふ声を確認しながら拾ったお芋を微笑ましかったです。

☆お神も子…テラスに集まり、柿の収穫は葉をとり収穫のお手伝いもしました。また収穫感謝詩をお祈りしたくとも、野菜を前に挨拶とお祈りすることになりました。ありがとうございました。10月、11月...色々な体験を味わうことが出来ました。

秋の豊かさを、たくさんのお友だちに、心から感謝です。

「実りの秋です
嬉しい天のお神様
ありがとう!」子ども達
一緒に歌っている積葉歌の
通り、たくさん収穫物に
より、11月3日総園会が
でき、嬉しい
限りです。

中遊びの中の学びの葉っぱ

一人遊びや教師との関わりの中で「遊ぶ」ことが多くなり、子ども達で「遊ぶ」最近では、一糸が「嬉しい!」と「遊ぶ」を共有する事を楽しみ、様子が増えてきました。子ども達が作り出した楽器を机の上に置いておくと、トちゃんか「鳥らしめ台めました。それに気が付いたふちゃんか「加わり、更にえちゃんも加わり...」と友達の様子を真似て遊びが「お台まり」、しばらく3人で演奏をしていました。一糸が「遊ぶ」中で、意志を伝え合い時々アイコンタクトをとりながら喜んで関わる姿がありました。時に、独占しようとして、「私か!」「僕か!」と主張し、「順番が難しかったり、2歳児らしいやり取りが見られるときもありますか!」友達をよく見て真似る中で「遊ぶ」を共有しています。そして、糸集り返し楽しむ中で「遊ぶ」の車輪が「広がっていく姿」が増えてきました。思いが通らなからたり、伝わりず「モヤモヤ」したり、トラブルになってしまったりする時もありますか!徐々に相対にも思いがある事を知り、学びを重ねていきます。気持ちに寄り添い、伝わる事の喜びを感じたり、相手の思いに気が付くように見守りたいと思ひます。



2023年度 いちごぐみ



クラスだより

敦賀教会幼稚園

園長 有岡史季

12月21日発行

執筆者 三野とみか

今年も瞬く間に過ぎていき、いよいよ2学期の最後の日を迎えました。
 運動会・秋の遠足・焼き芋・保育参観・クリスマス…行事の多い2学期でしたが子ども達は、日々の生活の中で色々な事に興味をもち、「やってみよう!」と意欲的に取り組めたことを嬉しく思います。初めての事ばかりで戸惑いもあったと思いますが、多くの経験を重ね、心も身体も一段と成長した子ども達です。1つ1つの活動に心から喜んで参加し、いろいろな発見や感じたことを一生懸命に表現し、楽しむ姿を頼もしく思います。微笑ましく可愛らしい姿を近くで見守り、その成長を感じる事ができ幸いです。また、保護者の方々と子ども達のありのままの姿や、成長の様子を分かち合いながら過ごせたことを嬉しく思います。ご支援とご協力に心から感謝いたします。3学期も愛しいいちご組の子ども達が笑顔いっぱい、元気いっぱいに毎日を歩めるように支えていけたらと願います。

初めてのクリスマス

初めての幼稚園で迎えるクリスマス…賑やかに飾られた大きなツリーやクッキーに目を輝かせ

自然と頬がほころび嬉しそうなる子ども達です。ツリーに

飾りを付けたり、お部屋ではアドベントカレンダーに毎日1つずつ

飾りを付けたりしてクリスマスを楽しみに待っていました。絵本を

通してイエス様が「お生まれになる、たれぞ、嬉しいクリスマスの日の

出来事を知らなくさんの賛美歌を繰り返して歌っていました。

子ども達はパーシントに親しみを持ち喜んで演じ、

当日は嬉しい知らせを伝え、馬小屋へと導く大きく光る

星の役を担い、星の役はもちろん、たんぽぽ組の子ども達が

演じる。それぞれの役の大切さを感じ、一生懸命に取り組む

ことが出来ました。衣装を身に付けると、ちびり緊張している

様子や心持ちになっている様子など様々な姿が見られました。

パーシントを通して、クリスマスの喜びをお家の方に伝えることが

できました。祝会では心のこもったプレゼントを交換し

笑顔の絶えない時間となりました。クリスマスの本当の

意味を知り、たくさんの恵みをご家庭の皆様と分かち

合えたことを嬉しく思います。ご協力ありがとうございました。

子ども達、保護者の皆様はもうさん、世界中の

すべての人のもとに聖霊の力がいきわたる、

少しづつ幸せを感じ、心温まるクリスマスと

なりますようにお祈りしています。

クリスマスツリーと教会のイラスト。

遊びの中の学びの芽

レゴブロックやたぐさんの穴が「開いている」長ブロック、積み木、廃材で遊ぶのが大好きな子ども達。初めての「遊んだ」時には「作ろう」と話し、教師が作ってもらうことで「満足する様子」がありました。教師が作っている様子を見ている中で、少しづつ自分で作ってみたいという思いが生まれ、見よう見まねで主体的に組み立てはじめ、長くつなげて棒に見立てたり車を作ったり、線路遊びの中で自分の思うように形を組み替えていきます。試行錯誤しながら自分の納得する形になるまで、ブロック遊びを続ける様子が見られました。遊びを通して気付いたことや学んだことを生かしながら考え、話し表現する姿に学びを感じました。



お知らせ

★12月1日より、2名の新しいお友達を迎えました。
増井 紀十さん・**水越 妃那乃さん**
 です。一緒に楽しいことを沢山しましょう!!
 ★明日から冬休みです。ご家族皆様で楽しい年末年始をお過ごし下さい。1月9日始園日に会えるのを楽しみにしています。
 ★こひびりーとは冬休み中お預かりします。
 ★2023年は愛しい子ども達と出会い、毎日楽しく過ごすことができました。保護者の皆様のご理解、ご協力、温かな眼差し、心より感謝いたします。ありがとうございました。





2023年度

いちごぐみ



クラスだより

敦賀教会幼稚園

園長 有岡史季

1月26日発行

執筆者 吉野ともみ

冬休みの間も、子ども達が神様に守られ、大きな怪我や事故、病気になることなく、元気に楽しく過ごせたことを感謝いたします。また、同時に被災した方々を覚えます。1日でも早く元の生活を送れる日が来ますように...深い悲しみの中にいる方々にも神様の御手が差し伸べられますように祈ります。

幼稚園では、新しい年が明け1年を締めくくると3学期がいよいよ始まりました。

それぞれの家庭で楽しい冬休みを過ごし、久しぶりに子ども達の笑顔と元気な声が園に戻ってきました。友達との再会を喜び、一緒に遊ぶ姿が微笑ましかったです。また「お家の人とたくさん遊んだ!」「ぬいおもちゃ食べた!」「お年玉もらったよ!」と嬉しそうに話してくれました。楽しかったことを伝え、嬉しさも分かち合いみんなの笑顔で温かい雰囲気になりました。友達との関わりが少しづつ広がって、一緒に遊ぶ楽しさを感じています。3学期はこれまで重ねてきた多くの経験を糧としてさらに成長する時期です。また進級を控え、期待と同時に緊張も出てくる時期でもあり、毎週、いちご組で過ごす日も復讐がなくなってきてきたか? 1日1日を大切に色々な経験を重ね、様々な感情を味わっている子ども一人一人に丁寧に寄り添い、見守り支えていきたいと思っております。今学期もよろしくお願いたします。

伝承遊び

こま回し、風あけ、けん玉、あやとり、カルタ...昔から受け継がれている遊びを伝承遊びといえます。楽しみながらも記憶力や集中力を培い、また指先の動きの練習にもつながる知恵がたくさん詰まった遊びです。おき陰では様々な伝承遊びの中からこまを取り上げ、みんなで作り作りました。丸く切った厚紙の土台にクレパスで好きな模様を描き、子ども達が回しやすいようにペットボトルのキャップを付け、手作りこまの完成です! 繰り返して遊ぶと早く回そうとしてみたり、うまく回せず、教師にしてみよう中、まわる様子を見て自分で「やってみよう」と回してみたり徐々にコツをつかんでいました。みんなでこま回し大会を楽しみました。

遊びの中の学びの芽



鷹村遊びをしていたある日の事、Kちゃんは「もう一度ロボット作り」と前日と同じ物を作り始め、作り終えた後もロボットを片手に「おままごとや幼稚園ごっこを楽しみ作った物に愛着を持ち大切に遊ぶことができました。その様子をみて、一緒にこの遊びをしていた他の子どもロボットを作り始めました。また、R君は教師の手元をよく見ており、繰り返して鷹村遊びをする中で「カムテープで接着する時には反対の手で素材を押さえたり支えたりするとひたひたと貼り付けられることに気付きました。何処と何処を貼り合わせるか考えながら作り作する様子がありました。また、空間の共有から、話し合う姿や思いのやり取りを介して一緒に遊びを楽しむ姿に人間関係の育ちを感じました。また、教師の姿や友達との遊びを模倣する中で遊びを広げたり、深めたり、考える中で種々のコツをつかむ姿に学びの芽を感じました。

園での様子



教師の話をよく聞いている子ども達。パンツレーニングをしている子が「登園後パンツに履き替える際「お家からパンツ履いてきて欲しいな...」とぼそと教師の心の声か「漏れると「うん、いいよ!」とやる気満々...翌日からパンツを履いてきてくれました。「パンツで行く!」という意欲的な姿も、お家で伝えられたことも素敵です。ズックの着脱はもちろん、シルンバーは月曜からぬいで着替えしにしないようにする...襟のひもをズックに掛ける等細かなことも伝え、自分で行えるよう促しています。また、出来ない時や困っている時には、教師の近くに来て尋ね、と伝えるように繰り返して話しています。困っているもなかなかできない時には「どうしたの?」何かお話しあるかと聞き、自己発信ができるように促す中で少しずつ発信できるようになりました。衣服の着脱や食事の時には茶碗宛を持つ、和食や苦手な物が「ある日時には、三角食べをしていくこと、最後まできれいにさうこと等...教師が先にしてしまうのではなく、時には見守り、時には「きれいに食べてね!」「シャツ入ってね!」等して欲しいことを伝え待つ中で自分でできるように声を掛けています。意欲的に身の回りの事を行おうとするこの3歳の時期は定着しやすい時期でもあります。丁寧に身の回りの事をする習慣が身に付くように願っています。また、お家や園での様子で気になることがあれば、担任までお知らせ頂けると幸いです。



クラスだより

敦賀教会幼稚園

園長 有岡史季

2月13日発行

執筆者 吉野ととみ

新しい年を迎え、早くも1ヶ月が経ちました。毎日寒い日が続いています。子ども達は寒さにも負けず、日々元気に過ごしており頼もしいです。お部屋では、レゴや積み木で遊んだり、ホールや園庭で「なるまさんか」のうたやおにごっこを楽しんでいます。また、好きな遊びの時間にも、劇のお面をかぶり、セリフを話したり、小道具を使って友達とのやり取りを楽しんだり。その可愛いらしい姿は微笑ましい限りです！

さて、今回は生活発表 特別号です。これまでの取り組みの様子や見どころを紹介していきます。



「もりのおふろ」

作 西村 敏雄

取り組みの様子

まずは、劇のお面(物語の展開に合わせて役を演じる)の楽しさを味わうように、子ども達の親しみのある「おおきなかぶ」を題材に、取りあげました。すると「伝、て、いいよ」と友達を誘い掛けたり、その誘いに喜んで答えたり、大きなかぶをぬけると、みんなで跳びはね、大喜び!! 糸本の世界に身を置く楽しさを十分に味わうことができました。糸本が大好きな子ども達は、「もりのおふろ」を話した時、もじくり絵本に聞かされていました。また糸本を返して出てくる「ごしごししゃ、しゃ」という言葉も教師の語りに合わせて、ふくやの様子もありました。

そこで、まず初めに、子ども達が使ったことのあるリミックのスカートで「ごしごししゃ、しゃ」に見立て、体を洗ったり、友達と「背中を洗ってもらえませんか?」「はい、いいですよ!」のやり取りをし、背中を流し、お風呂を楽しんだりしました。すると、子ども達が「お湯を流す桶が、いかに気がつき、桶の制作を始めました。大きな厚紙に、自分の好きな色やハケや筆を使い、塗っています。教師が形を整え、みんなでスランテーパーを繋ぎ、桶に入れると、たぷりのお湯がでる!!」お友達と「お湯をさぶーんとお湯のかけあいを楽しみ、絵本の世界に入りこんでいく子ども達。

今度は、動物の模倣遊びを楽しみ、役になりきり、自分達が作った道具も使い、もりの おふろ の劇のお面をかぶり楽しんでいました。

あらすじ

森の奥にお風呂がありました。そこにライオンがや、て来て、身体を洗い始めました。するとゾウがや、て来たのでライオンは、「ゾウさん 背中も洗って下さい」と頼みました。ゾウは「はい、いいですよ」とライオンの背中を洗いました。ワニ、ブタ... 次から次へと動物たちが集めて来て、洗い合いをします。最後にウサギがや、て来ました。みんなが車輪になり「ごしごししゃ、しゃ」と背中を洗います。お湯をさぶーんとかけ、お風呂に入ると身体もあたたまり、いい気持ち!

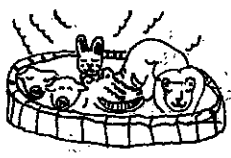


題材に決めた理由と原真い。

この作品を題材に選んだ理由は、お風呂に集まって来て、1つの物を共有する。お風呂にされた動物たちは「はい、いいですよ」と快く引き受ける。みんなが1つの大きな車輪になる。という所に温かさを感じたからです。

お部屋では、友達と関わりたいたい様子が「見られ、好きな遊びでも言葉を使って友達とやり取りする姿が」見られるようになってきました。困っている様子が「さかさま!」「大丈夫」と声を掛けたり、どうやって一緒に遊ぼうか! 何と声を掛けようか! 考え、友達と繋がるという姿があります。そんな2歳児のこの時期ならではの姿と、困っている友達かいたら、そと手を差し伸べられる優しい心を忘れずに成長して、欲しい... 困った時には発信して欲しい... という普段の生活の中で感じる教師の原真いとか、絵本に出てくる動物たちの姿と重なり、喜んでセリフのかけ合いを楽しみ、演じる姿を思い浮かべることができました。

みんなが笑顔で車輪に集まり、お話が進んでいき、劇の幕が終わった後も、友達とのやり取りが「より一層楽しいものになるように... 原真いを込めてこの絵本を選びました。



見どころ

★お面は、子ども達が「それぞれ素材を選び、教師が作った粘土に目や耳、飾りを付けていました。お気に入りには色を塗り、岩に見立てたアイスも子ども達が大きな紙を丸め、質感を出したり、壁面やお風呂等すべて、子ども達が色をぬりました。1つ1つにご注目下さい。

★登場する動物たちの特徴を捉えた動きも子ども達が考えました。そのなんと微笑ましい表現が見どころです。お友達と一緒に動物になりきって演じます。かわいい姿をお楽しみに!!

※楽しんできた劇のお面をお家の人に見てもらえると喜んで、沢山の前に見ってもらうこと、緊張もあると思いますが、ありのままの姿を受け止めて頂けたら幸いです。



2023年度 いちごぐみ

クラスだより



教員教会幼稚園

■ 長 有間史季

3月21日発行

執筆者 吉野とむみ

寒さの中にも暖かく柔かい風が感じられるようになり、春の訪れを感じます。いよいよ、いちご組最後のクラスだよりとなりました。子ども達と共に過ごした日々を振り返り、思い出を述べています。4月、少し不安気にお家の方に連れられて、幼稚園の門をくぐった入園式からあ、という間に1年が経ちました。日々の園生活や様々な行事の中で心も身体も大きくたくましく成長しました。すべての事が初めてで「ワクワクドキドキしながらも興味津々にいろいろな活動に喜んで取り組むことができました。神様のお守りの中、保護者の方のご理解、ご協力に支えられ、1年間を歩めたことま心から感謝いたします。至らない点もたくさんあると思いますが、あたたかく見守っていただきありがとうございます。子ども達、そしてご家族皆様のこねからの歩みもネ申様に明るく照らされますようにお祈りしています。

いちご組さん 楽しかったね!! ひかり組さん ありがとう

★運動会... かけこで一生懸命に走り、ダンス「てとてとてとて」ではおど健の笑顔が輝いていましたね。意欲的に取組む姿が素晴らしいです。

★クリスマス(初めてのページェント)... 神様の愛を感じ、クリスマスの本当の意味を知り、イエス様のお誕生をお祝いすることができました。また、大好きなお家の方とのプレゼント交換では、守かけた物を送る喜び、送る方も心があたたかくなることを知る事が出来ました。

★生活発表... 糸本が大好きな子ども達「モリのおふろ」という物語と出会い、友達と一緒に喜んで演じる姿が素晴らしいです。

★おでかけ... アーケード散策(猫のアート探し・こねのおっぴろ自動車公園、気比神宮、旭公園、運動公園... 神様のお守りの中で強い足で元気いっぱい出かけることが出来ましたね。

いつも優しく一緒に遊んでくれたカッパイ、幼稚園のリーダー! 卒園するひかり組さんには感謝の気持ちを含めて、たんぼほ組の子ども達と力を合わせてプレゼントを制作しました。ありがとうのメッセージを添えて、在園児みんなで「ありがとうの花」の歌も歌い、大好きなひかり組さんにプレゼントしました。

お知らせ

★持ち帰りました用品は新年度用品と共にクラス名・名前と石印認して頂き、始園日にお持たせ下さい。

★春休みは1つ大きくなる心の準備をする期間でもあります。大好きなお家の方と過ごす中で「新たな1歩を踏み出せるように十分にスキンシップもとり、心の備えをしたり、身の回りの事を見直す良い機会です。また、生活リズムが崩れやすい時でもあります。お休みの間は、大好きな子ども達です。毎日お休みの時何か1つ目標を決めて規則正しく過ごせると素敵ですね。楽しい春休みとなりますようにお祈りしています。

★クッキング... ヒンガ、さつまいものケーキ、サンドイッチ、ワッキーをのせたトライフル、おいしい物いっぱい「〇〇がおいしい」と食いたい物を考え、喜び一杯に作り、口いっぱい頬張ったり、大事そうに少しずつ食べるたり... 作る時も食べる時も愛おしい子どもたちの姿がたくさんありました。

いちご組のお部屋で「おまご」としたり、「電車遊び」をしたり絵画や制作をしたり... 園庭で思い切り砂場遊びをしたり、追いかけっこしたり... 楽しかったですね。友達と遊ぶ喜びを知り、まっいい合い、友達同士のやり取り見られるようになりました。会食もなんでも食べる元気いっぱい過ごすことが出来ました。そして行事の取組もみんなももちろん余韻も楽しむことが出来ました。書き出すとさびかないほど「楽しかったね!」「よくできたね!」... うれしい笑顔が沢山詰め、また日々を送ることが出来ました。日々の歩みの中で「何にでも興味を持ち、意欲的に参加する子ども達は本当に素敵でした。たんぼほ組さんに道教しても喜び一杯に園生活を過ごしてくれたお礼に、

大好きないちご組さんへ

大好きないちご組さん、もうすぐ「たんぼほ組」のお兄さんお姉さんになりますね。沢山遊んで「沢山笑」て身体も心も大きく成長しました。みんなと過ごした毎日は、とても楽しかったです。みんなと出会えたこと、いちご組さんで楽しく過ごせたこと、神様に心から感謝です。こねからの成長も楽しみにしています。 吉野 とむみ

大好きな いちご組さんへ
みんなとたくさん遊んで、たくさん笑って過ごした毎日はとても楽しく幸せでした。ありがとう!!
小さな手で一生懸命に挑戦する姿...「できた!!」の喜び、いっぴいの笑顔... たくさんのお手紙が送られてきたように、すばらしい一年でした。こねからの成長を楽しみにしています。 伊藤 ますみ